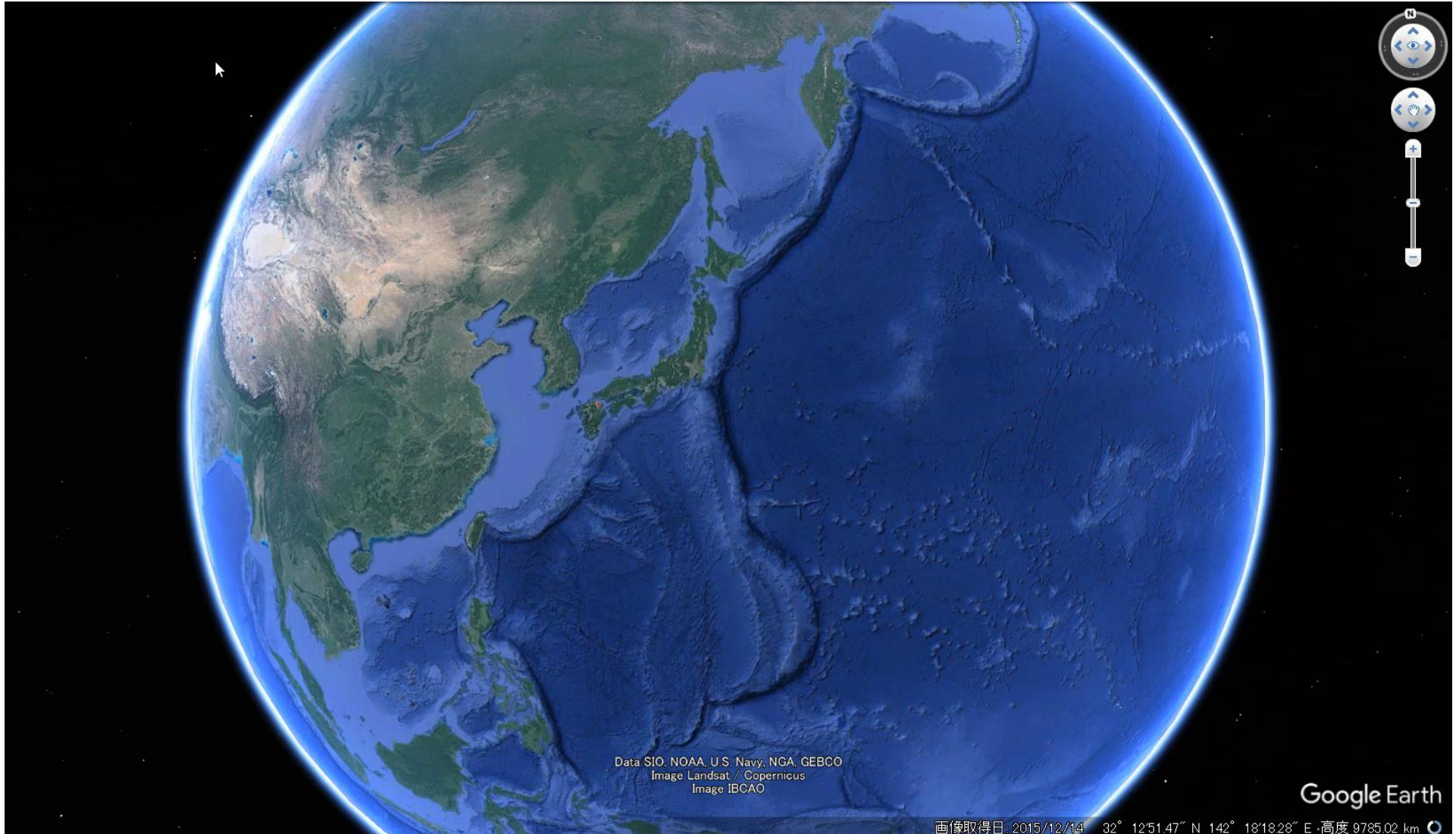




第7回考古天文学会議 宇佐市内の天文関連遺跡

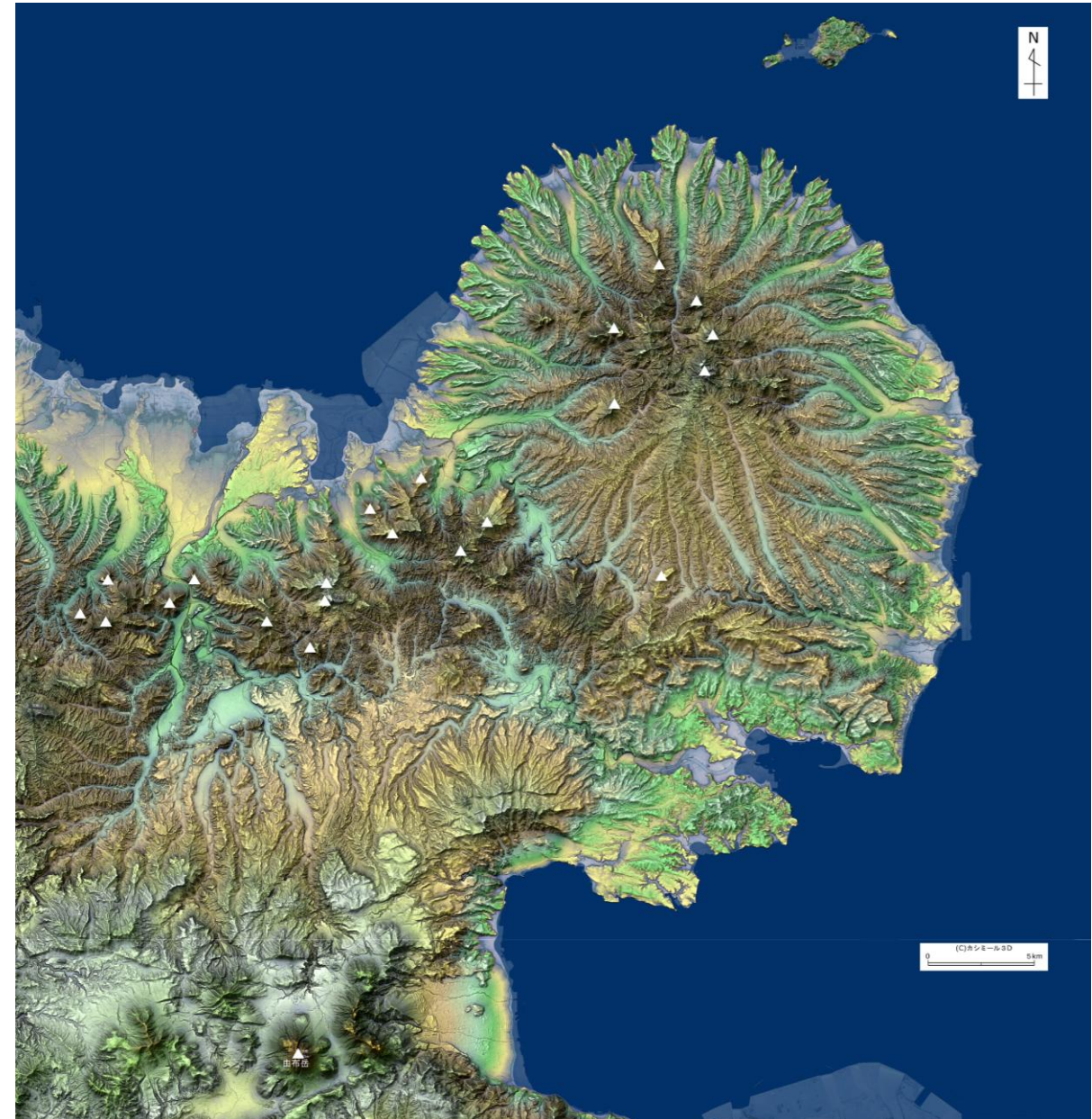
宇佐市教育委員会
弘中 正芳

宇佐市の位置



宇佐市の地理的特徴

- 北側全域が周防灘に接する
- 中津平野の一部を構成する宇佐平野が広がり、東には国東半島
- 南側は由布岳や鶴見岳につながる標高400～1000m程度の低山



宇佐市の歴史的特徴

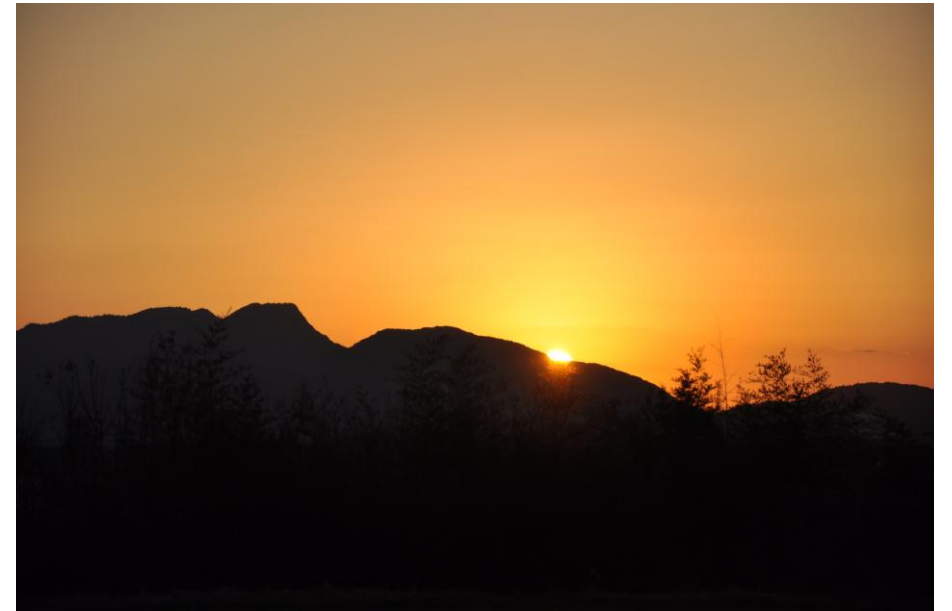
- 弥生時代
 - 野口遺跡
 - 別府遺跡（朝鮮式小銅鐸）等
- 古墳時代
 - 川部・高森古墳群
 - 小部遺跡
 - 葛原古墳 等
- 古代
 - 宇佐宮創建→宇佐宮領の拡大
 - 虚空蔵寺・弥勒寺等の古代寺院
 - 宇佐駅・安覆駅
- 中世
 - 宇佐神宮の再興
- 近世
 - 小藩分立
 - 四日市東西別院の建立
- 近代
 - 日豊本線の開通
 - 宇佐海軍航空隊の開隊と終戦

1 小部遺跡

- 古墳時代前期前半(3世紀中頃～末)の豪族居館
- 全長200m以上の環濠の内側に方形区画と大型建物あり
- 大型建物または環濠から、冬至の太陽等を観測した可能性あり



小部遺跡の大型建物SB-01



小部遺跡から見た冬至の日の出

2 赤塚古墳と方形周溝墓

- 古墳時代前期の前方後円墳とその南側にある墓群
- 小部遺跡から見ると、ほぼ冬至の日の出方向に位置する
- 方形周溝墓のうち数基は、石棺墓の軸線が冬至の日の出と一致する

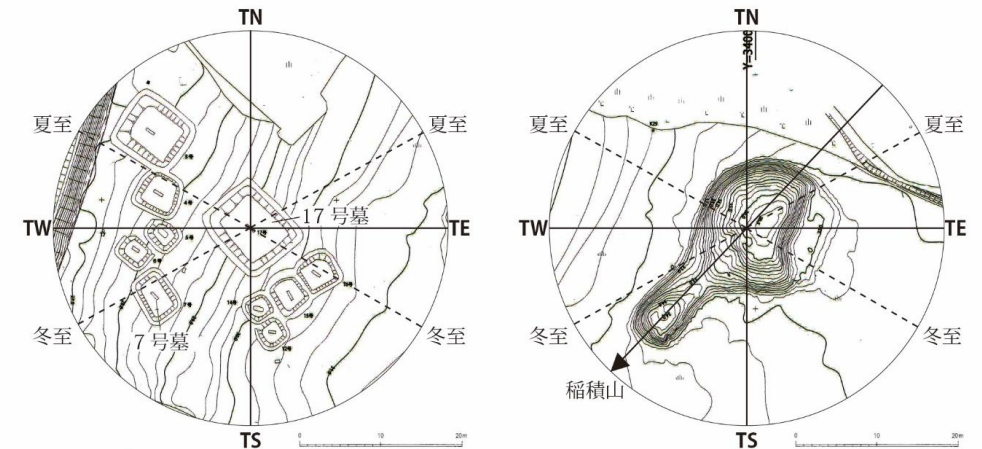


図6 赤塚古墳と方形周溝墓群と日の出・日の入の関係(S=1/1500、越智2022を改変)

3 勅使街道

- 宇佐神宮の西参道につながる直線道
- 年2回(雨水、霜降)の時期に、日の出と参道が直線上に重なる



2021年4月26日



2023年2月20日(雨水の翌日)

4 宇佐神宮

- 全国にある八幡社の総本宮
- 725年に現在の位置に社殿が建てられた
- 上宮にある八幡造の本殿そばに立つ北辰神社は、本殿と同じ八幡造であり、本殿建築時のモデルとしたという説あり



宇佐神宮



北辰神社

5 佐田の京石

- 米神山の中腹斜面から山頂にある巨石群
- 近世の絵図には「経石」と記される
- 山中には、「月の神谷」、「日の神谷」等の地名が残り、合計100個以上の巨石が点在

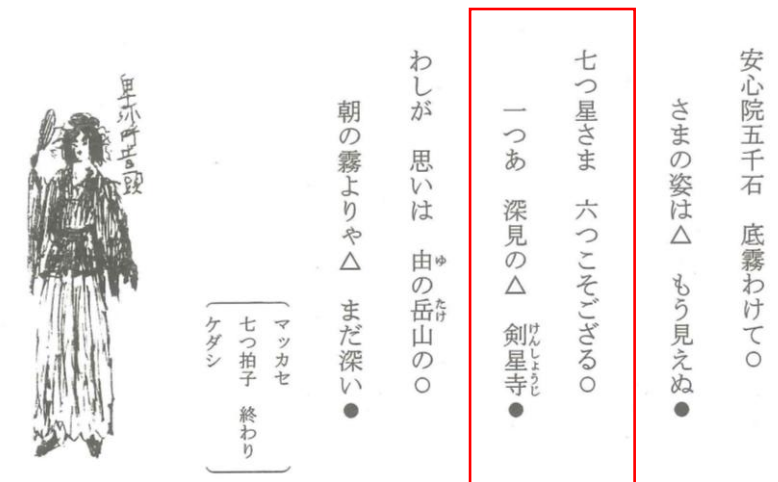


6 剣星寺

- 大同年間(806～809)創建とされ、当初は「顕祥寺」といった
- 949年、浄蔵法師が大巖寺で祈ると、空から星と剣が降ったので、「剣星寺」と寺号を変え、七堂伽藍を再建したとされる
- 境内には星堂と呼ばれる祠がある



剣星寺の星堂



安心院に残る盆踊りの口説き

12月25日 エクスカーション行程

午前の部

時刻	場所
9:00	宇佐市役所
9:10～9:30	小部遺跡
9:40～10:10	赤塚古墳 周辺の方形周溝墓群
10:20～10:35	勅使街道
10:45～11:45	宇佐神宮
11:45～12:45	昼食

午後の部

時刻	場所
13:00～13:30	佐田の京石
13:50～14:05	剣星寺
14:30	宇佐市役所着

12月25日 エクスカーション集合場所

- 9 : 0 0 宇佐市役所正面玄関側バス停付近

